

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第4週（1月22日～1月29日）

## ★ お知らせ

### ○インフルエンザの流行が過去最高！

定点医療機関からの報告が県全体で定点当たり前週 59.31 から更に上昇し、66.69（警報値：30.00）と直近 10 年で最高値となった。また、学校欠席者情報収集システムにおいても、出席停止報告が前週 2,559 名から 3,169 名と増加した。

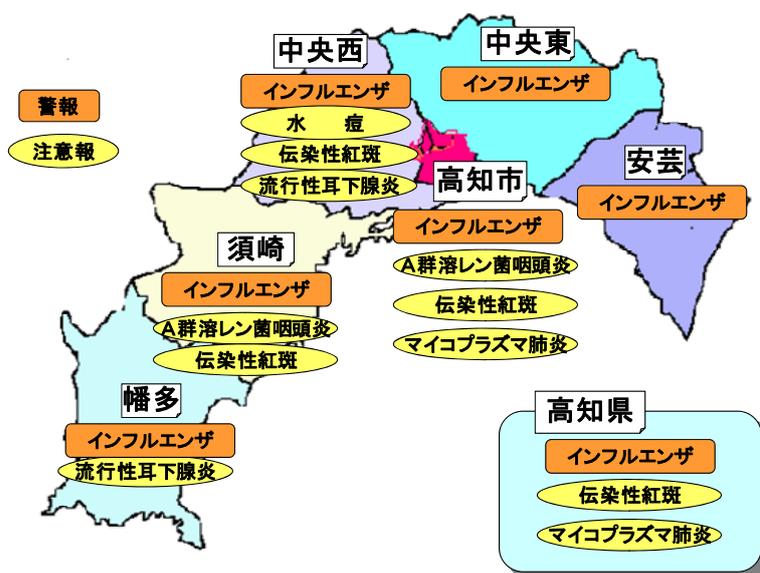
引き続き手洗いやうがいの励行とともに、咳エチケットを心がける必要がある。

## ★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	<span style="color:yellow">→</span>	66.69	幡多、須崎で減少、その他の保健所管内では増加となる。今後の動向に注意が必要。
感染性胃腸炎	<span style="color:blue">↘</span>	4.70	全保健所管内で減少となる。シーズンなので注意が必要。
RS ウイルス感染症	<span style="color:yellow">→</span>	2.60	高知市、幡多で増加したが、全体では横ばいである。シーズンなので注意が必要。
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<span style="color:magenta">↗</span>	1.70	高知市、須崎で増加し注意報値を超した。その他の保健所では減少したが全体では増加となる。シーズンなので注意が必要。
伝染性紅斑	<span style="color:blue">↘</span>	1.00	須崎で増加し、中央西、高知市、幡多の 4 保健所で注意報値を超したが全体では減少となる。シーズンなので注意が必要。

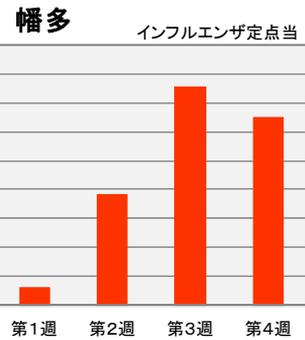
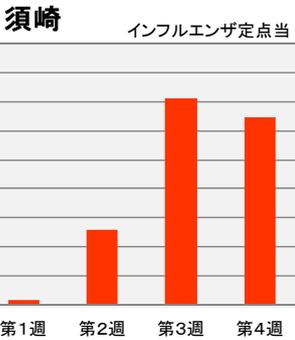
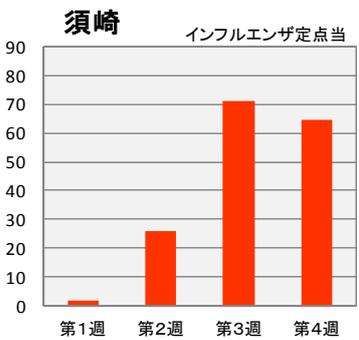
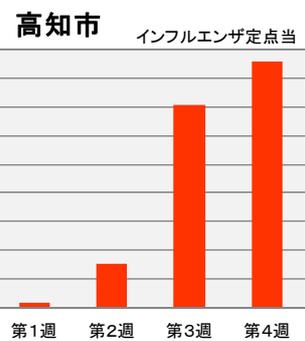
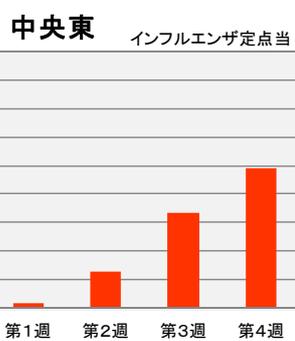
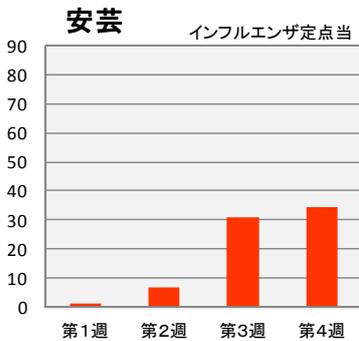
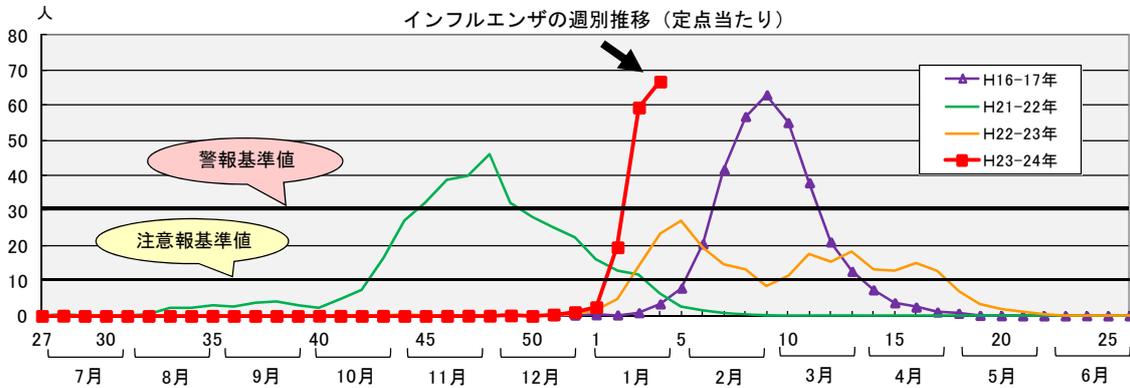
## ★ 地域別感染症発生状況



★ 気をつけて！

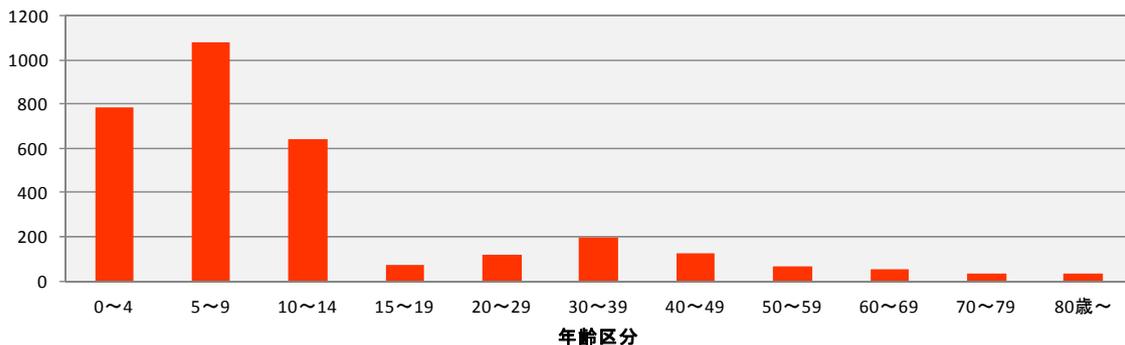
○インフルエンザ：66.69 （注意報値：10.00 警報値：30.00）

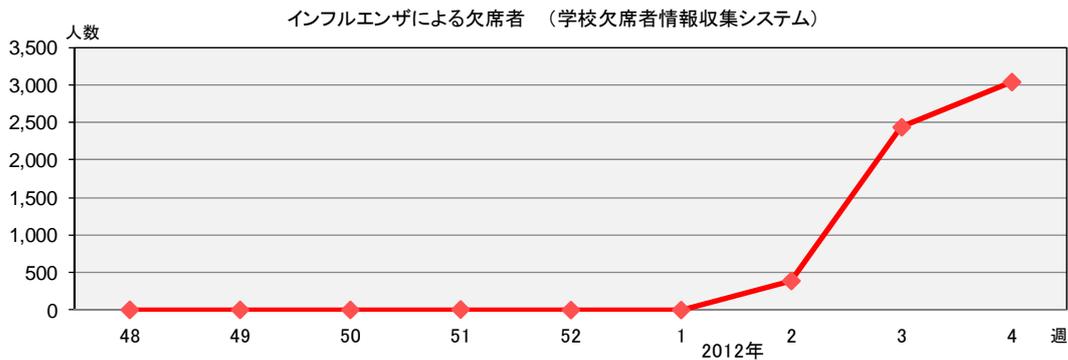
定点医療機関からの報告が定点当たり 66.69 となり、過去 10 年では H16-H17 シーズンの 62.92 を超え最高値となった。保健所ごとでは、高知 85.56、中央西 75.60、幡多 65.25、須崎 64.50 中央東 48.82、安芸 34.25 と警報値を超した。また、病原体定点から搬入された検体からは Influenza virus A H3(A 香港型) が 8 件、Influenza virus B が 2 件検出された。



報告数

年齢区分別報告数(第4週)





◇ 予防対策

【かからないために】

- ◇ こまめに手洗いやうがいをしましょう。
- ◇ でかけるときは、なるべく人ごみを避けましょう。
- ◇ 十分な栄養と休養をとりましょう。

【うつさないようにするために】

- ◇ 「咳エチケットを守りましょう。
- ◇ 外出はできるだけ控えましょう。

★ 病原体検出情報

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	地域	ウイルス、細菌の検出状況
4	インフルエンザ	12	女	高知市	Influenza virus A H3 NT
4	インフルエンザ	12	女	高知市	Influenza virus A H3 NT
4	インフルエンザ	4	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
4	インフルエンザ	6	男	中央東	Influenza virus A H3 NT
4	インフルエンザ	2	女	中央東	Influenza virus A H3 NT
4	インフルエンザ	10	男	高幡	Influenza virus A H3 NT
4	インフルエンザ	8	女	高幡	Influenza virus A H3 NT
4	インフルエンザ	11	男	幡多	Influenza virus A H3 NT
4	インフルエンザ	3	男	高知市	Influenza virus B NT
4	インフルエンザ	10	女	高知市	Influenza virus B NT
4	気管支炎	4	男	中央東	Respiratory syncytial virus
4	マイコプラズマ	4	男	高幡	Mycoplasma pneumoniae
4	マイコプラズマ肺炎	8	女	高幡	Mycoplasma pneumoniae

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	地域	ウイルス、細菌の検出状況
2	気管支炎	3	女	高知市	Respiratory syncytial virus
41	上気道炎	4	男	中央東	Rhinovirus
42	咽頭結膜炎	2	男	高知市	Rhinovirus

★ インフルエンザ迅速検査結果

保健所	A	B	A+B
安芸	133	1	
中央東	391	12	
高知市	1,300	15	1
中央西	377	1	
須崎	252	3	
幡多	489	4	
計	2,942	36	1

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	6	70歳代(女)	中央西

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
高知市	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症とインフルエンザの同時感染 1例(8歳男) 伝染性紅斑とインフルエンザの同時感染 1例(8歳女)
	けら小児科・アレルギー科	帯状疱疹 1例(8歳女) 百日咳 1例(9歳女) 東浜株×320 山口株×640 DPT接種3回
中央西	日高クリニック	マイコプラズマ気管支炎 2例(13、14歳男)
須崎	もりはた小児科	第3週 マイコプラズマ肺炎 1例(8歳)、 今週 マイコプラズマ肺炎 1例(4歳)
幡多	渭南病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1例(1歳男)
	さたけ小児科	マイコプラズマ感染症 2例(4、6歳女)

★ 全国集計

第2週(1/9~1/15)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核262例

3類感染症：コレラ1例、細菌性赤痢5例、腸管出血性大腸菌感染症16例(有症者11例、うちHUSなし)

4類感染症：E型肝炎4例、A型肝炎1例、つつが虫病8例、デング熱3例、レジオネラ症6例

5類感染症：アメーバ赤痢9例、ウイルス性肝炎1例、急性脳炎6例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群9例(AIDS 5例、無症候3例、その他1例)、髄膜炎菌性髄膜炎1例、梅毒9例、破傷風1例、風しん1例、麻しん6例

報告遅れ：デング熱1例、日本紅斑熱7例、レプトスピラ症1例、急性脳炎3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例

◆インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。典型的な発症例では1~4日間の潜伏期間を経て、突然に発熱(38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続く。通常は1週間前後の経過で軽快するが、いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴である。インフルエンザの主な感染経路はくしゃみ、咳、会話等で口から発する飛沫による飛沫感染であり、他に接触感染もあるといわれている。感染対策としては、飛沫感染対策としての咳エチケット、接触感染対策としての手洗い等の手指衛生の徹底が重要であると考えられるが、たとえインフルエンザウイルスに感染しても、全く無症状の不顕性感染例や臨床的にはインフルエンザとは診断し難い軽症例が存在する。従って、特にヒト-ヒト間の距離が短く、濃厚な接触機会の多い学校、幼稚園、保育園等の小児の集団生活施設においてインフルエンザの集団発生をコントロールすることは困難であると思われる。感染症発生動向調査では、全国約5,000カ所(小児科定点約3,000、内科定点約2,000)のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。インフルエンザの定点当たり報告数は、2011年第42週以降増加が続いており、2012年第2週の定点当たり報告数は7.33(報告数36,056)となり、前週の報告数(定点当たり報告数3.76)の2倍近い値となった。都道府県別では岐阜県(23.82)、愛知県(22.63)、三重県(21.92)、高知県(19.52)、福井県(16.38)、香川県(15.86)、愛媛県(15.00)、岡山県(13.71)の順となっている。全ての都道府県で前週の定点当たり報告数よりも増加がみられた。定点医療機関からの報告数をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を1週間に受診したインフルエンザ患者数を推計すると、2012年第2週は40万人(95%信頼区間:37~44万人)(暫定値)となり、前週(23万人)よりも大幅に増加した。年齢群別では5~9歳約8万人(19.5%)0~4歳約6万人(14.6%)、30代約5万人(12.2%)、10~14歳、20代、40代がそれぞれ約4万人(9.8%)の順であり、特に5~9歳が前週(約2万人)より大きく増加した。この増加は学校、幼稚園等の大半の小児の集団生活施設の冬期休暇が終了して再開したことも影響していると思われる。2011年第36週以降これまでの累積の推計受診患者数は114万人(95%信頼区間:109~119万人)(暫定値)であった。2011年第36週~2012年第2週に国内では717検体のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、AH1pdm09が4件(0.6%)、AH3亜型(A香港型)649件(90.5%)、B型64件(8.9%)とAH3亜型が大半を占めている状態が続いている。国内の多くの学校、幼稚園等での冬期休暇終了後、中部、中国、四国地方を中心にインフルエンザの報告数は急増してきており、インフルエンザの流行は本格化しつつあると考えられる。今後ともインフルエンザの発生動向には注意が必要である。

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第4週 平成24年1月23日(月)～平成24年1月29日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	高知県						計	前週	全国(3週)	高知県(4週末累計)		全国(3週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/1/2～H24/1/29	H24/1/2～H24/1/22		
内科・小児科	インフルエンザ		137	537	1,369	378	258	522	3,201 ( 66.69 )	2,847 ( 59.31 )	112,035 ( 22.73 )	7,104 ( 148.00 )	164,341 ( 34.36 )		
小児科	咽頭結膜熱					1			1 ( 0.03 )	1 ( 0.03 )	709 ( 0.23 )	4 ( 0.13 )	2,235 ( 0.73 )		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	5	27	4	4	9	51 ( 1.70 )	40 ( 1.33 )	6,979 ( 2.22 )	155 ( 5.17 )	14,566 ( 4.78 )		
	感染性胃腸炎		11	25	61	9	3	32	141 ( 4.70 )	192 ( 6.40 )	35,163 ( 11.21 )	703 ( 23.43 )	87,167 ( 28.59 )		
	水痘			7	8	6	1	6	28 ( 0.93 )	55 ( 1.83 )	5,147 ( 1.64 )	166 ( 5.53 )	19,239 ( 6.31 )		
	手足口病				2				2 ( 0.07 )	3 ( 0.10 )	612 ( 0.20 )	7 ( 0.23 )	1,749 ( 0.57 )		
	伝染性紅斑			1	16	5	2	6	30 ( 1.00 )	36 ( 1.20 )	940 ( 0.30 )	107 ( 3.57 )	2,251 ( 0.74 )		
	突発性発疹				6	3	1	1	11 ( 0.37 )	9 ( 0.30 )	1,654 ( 0.53 )	41 ( 1.37 )	4,450 ( 1.46 )		
	百日咳				1				1 ( 0.03 )	1 ( 0.03 )	49 ( 0.02 )	5 ( 0.17 )	159 ( 0.05 )		
	ヘルパンギーナ								( 0.00 )	2 ( 0.07 )	63 ( 0.02 )	3 ( 0.10 )	167 ( 0.05 )		
	流行性耳下腺炎		1	3	3	3		12	22 ( 0.73 )	11 ( 0.37 )	1,567 ( 0.50 )	113 ( 3.77 )	5,855 ( 1.92 )		
	RSウイルス感染症		2	13	36	4	7	16	78 ( 2.60 )	69 ( 2.30 )	2,084 ( 0.66 )	275 ( 9.17 )	6,511 ( 2.14 )		
	眼科	急性出血性結膜炎										9 ( 0.01 )	( 0.00 )	25 ( 0.04 )	
		流行性角結膜炎				2				2 ( 0.67 )	( 0.00 )	355 ( 0.53 )	3 ( 1.00 )	1,161 ( 1.77 )	
基幹	細菌性髄膜炎										13 ( 0.03 )	( 0.00 )	24 ( 0.05 )		
	無菌性髄膜炎										14 ( 0.03 )	( 0.00 )	43 ( 0.09 )		
	マイコプラズマ肺炎				4				4 ( 0.57 )	8 ( 1.14 )	455 ( 0.98 )	17 ( 2.43 )	1,368 ( 3.00 )		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										14 ( 0.03 )	( 0.00 )	38 ( 0.08 )		
計 (小児科定点当たり人数)		153 ( 42.25 )	591 ( 56.53 )	1,535 ( 100.11 )	413 ( 87.27 )	276 ( 73.50 )	604 ( 81.65 )	3,572 ( 78.85 )							
前週 (小児科定点当たり人数)		149 ( 43.50 )	429 ( 42.32 )	1,311 ( 86.59 )	387 ( 83.40 )	303 ( 80.50 )	695 ( 93.30 )				167,862	8,703 ( 200.63 )	311,349		

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	高知県						計	前週	全国(3週)	高知県(4週末累計)		全国(3週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/1/2～H24/1/29	H24/1/2～H24/1/22		
内科・小児科	インフルエンザ		34.25	48.82	85.56	75.60	64.50	65.25	66.69	59.31	22.73	148.00	34.36		
小児科	咽頭結膜熱					0.33			0.03	0.03	0.23	0.13	0.73		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00	0.71	2.45	1.33	2.00	1.80	1.70	1.33	2.22	5.17	4.78		
	感染性胃腸炎		5.50	3.57	5.55	3.00	1.50	6.40	4.70	6.40	11.21	23.43	28.59		
	水痘			1.00	0.73	2.00	0.50	1.20	0.93	1.83	1.64	5.53	6.31		
	手足口病				0.18				0.07	0.10	0.20	0.23	0.57		
	伝染性紅斑			0.14	1.45	1.67	1.00	1.20	1.00	1.20	0.30	3.57	0.74		
	突発性発疹				0.55	1.00	0.50	0.20	0.37	0.30	0.53	1.37	1.46		
	百日咳				0.09				0.03	0.03	0.02	0.17	0.05		
	ヘルパンギーナ									0.07	0.02	0.10	0.05		
	流行性耳下腺炎		0.50	0.43	0.27	1.00		2.40	0.73	0.37	0.50	3.77	1.92		
	RSウイルス感染症		1.00	1.86	3.27	1.33	3.50	3.20	2.60	2.30	0.66	9.17	2.14		
	眼科	急性出血性結膜炎										0.01		0.04	
		流行性角結膜炎				2.00				0.67		0.53	1.00	1.77	
基幹	細菌性髄膜炎										0.03		0.05		
	無菌性髄膜炎										0.03		0.09		
	マイコプラズマ肺炎				0.80				0.57	1.14			3.00		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										0.03		0.08		
計 (小児科定点当たり人数)		42.25	56.53	100.11	87.27	73.50	81.65	78.85							
前週 (小児科定点当たり人数)		43.50	42.32	86.59	83.40	80.50	93.30		73.28		200.63				

咳エチケットを守りましょう！

- 咳やくしゃみなどの呼吸症状がある方は、必ずマスクを着用しましょう。
- 咳やくしゃみをするときは、ハンカチやティッシュで口や鼻を押さえ、ウイルスの飛散を防ぎましょう。
- 使用したティッシュなどは、ゴミ箱に捨てましょう。
- 咳やくしゃみをした後は、石けんを使用して、よく手を洗いましょう。

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869